

# ぐんま広報

県人口 : 1,940,533人  
対前月 : -866人  
男 : 959,326人  
女 : 981,207人  
世帯数 : 804,382世帯  
(県移動人口調査・令和元年6月1日現在)

No.363  
2019 8



榛名湖(高崎市)

発行：群馬県広報課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-226-2162 FAX 027-243-3600  
県ホームページ <https://www.pref.gunma.jp/> ※右図から読み取れます



県内の観光情報をお知らせしています。  
「ググっとぐんま公式サイト」(ググっとぐんま観光宣伝推進協議会ホームページ)  
<https://gunma-dc.net/>

## 特集

# スポーツに親しむ ～子どものスポーツ環境の充実～

子どもの頃からスポーツに触れることは、心身の成長に大きな役割を果たします。  
子どもが生涯にわたってスポーツに親しめるよう、県では子どもを対象にスポーツに触れる機会の充実や育成に向けた取り組みを進めています。



「ぐんまスーパーキッズプロジェクト2019」認定式の様子

### スポーツの効果

いよいよ来年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。また9年後には、45年ぶりに本県で国体と全国障害者スポーツ大会が開催される予定であり、スポーツへの関心がますます高まっています。

スポーツは、楽しさや爽快感をもたらしてくれる他、心身の健康維持にも大きな効果があり、豊かな生活を送るために重要な役割を果たしています。また地元で育った選手や応援するチームの頑張る姿は、私たちに感動を与えてくれます。

このようなスポーツの効果をより広げていくためには、子ども世代にスポーツの楽しさを伝えていくとともに、全国や世界を目指す選手を支援していくことも必要です。

### 子どもとスポーツ

子どもにとってスポーツは、健康に生きるための体力を培うとともに、規律を学んだり、協調性を養ったりするなど、人間形成の面でも効果があるといわれています。

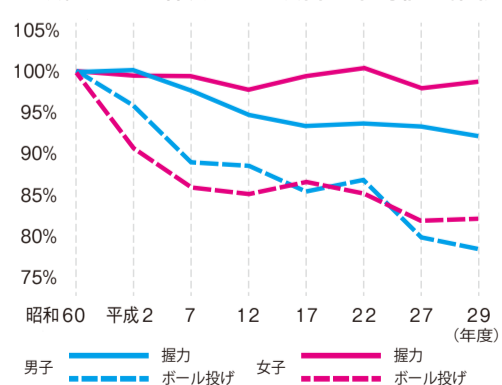
しかし、国が実施した調査によると、現代の子どもの体力は、体力水準が高かった昭和60年頃に比べると低くなっています。また近年では運動をする子どもとしない子どもに二極化する傾向が見られ、特に中学生の女子では、1週間の総運動時間が60分未満の生徒が全体の約2割を占めています。

その他、スポーツをする機会においても、少子化により、学校の部活動やスポーツ少年団のチーム編成・運営が困難になる事例も出てきてい

ます。

このようなことから、子どもたちの健やかな成長を支えるために、子どもがスポーツに触れる機会を増やし、スポーツへの関心を高められる環境を整えることが必要です。

10歳における体力テスト項目の平均値の推移



※体力・運動能力調査(スポーツ庁)を基に県広報課が作成  
(注)昭和60年度を100%とする相対値

### スポーツを身近に

子どもたちが実際にスポーツに触れ、興味を持つきっかけとするため、県は昨年度から小学生以下を対象に、いろいろなスポーツを体験するイベント「目指せ！未来のアスリート わくわく運動プロジェクト」を開催しています。また県内のプロスポーツチームの選手やコーチが小学校などを訪れ、実技指導や経験を伝える事業も実施しています。

その他、小学4年～6年生を対象にした「ぐんまスーパーキッズプロジェクト」を実施し、体力・運動能力に優れた子どもを早期に発掘して、育成していく取り組みにも力を入れています。

子どもたちのスポーツに触れる機会の充実や育成に向けた取り組みについて紹介します。





①ホッケー ②ボウリング ③自転車 ④アーチェリー ⑤レスリング ⑥ボクシング ⑦新体操 ⑧フェンシング

### 障害者スポーツも体験

車いすバスケットボールやフライングディスク、サウンドテーブルテニスなどの障害者スポーツ体験も開催しました。参加した子どもたちは、競技用車いすの操作などに苦戦しながらも、さまざまな種目を楽しんでいました。

※県立ふれあいスポーツプラザでは、定期的に障害者スポーツの体験イベントを開催しています

#### 問い合わせ先

県立ふれあいスポーツプラザ（伊勢崎市下触町）  
☎0270-62-9000



車いすバスケットボール サウンドテーブルテニス

# やってみよう！ スポーツいろいろ わくわく運動プロジェクト

スポーツにはたくさんさんの競技があります。例えば、国体・全国障害者スポーツ大会では、50を超える競技が実施されています。さまざまなスポーツの体験を通して、子どもたちに自分がやりたい種目を見つけてほしいという思いから、県は昨年度、小学生までの子どもを対象に、フェンシングやアーチェリー、新体操など20種目を超えるスポーツの体験イベント「目指せ！ 未来のアスリート わくわく運動プロジェクト」を開催しました。初めて触れる種目の体験を通し、スポーツの楽しさや喜びを多くの子どもたちに感じてもらうことができました。今年度も秋に開催を予定しています。

### スポーツの楽しさを体験

「わくわく運動プロジェクト」の企画・運営に携わっている、県スポーツ協会の山さんに伺いました。



やま だいすけ 山 大輔さん

「近年、テレビやインターネットでスポーツが頻繁に取り上げられるようになりました。しかし、その多くは野球やサッカーなど一部のスポーツです。『わくわく運動プロジェクト』をきっかけに、子どもたちにもっとたくさん魅力的なスポーツがあることを知ってもらい、興味を持ってほしいですね。

イベントにはおよそ2千人の子どもたちが参加し、各競技団体のブースで、さまざまなスポーツを体験しました。実際に体験して『もっとやってみたい』と思う種目があれば、各競技団体が実施している体験会や地域のスポーツ少年団に参加して、スポーツに親しんでもらえるとうれしいです。

9年後には、国体・全国障害者スポーツ大会が群馬県で開催される予定です。イベントをきっかけにスポーツを始めた子どもが、このような大きな大会で活躍してくれることを楽しみにしています。今年の秋のイベントは新しい種目を追加するなど、より魅力的で、わくわくする内容にしたいです」

**今年度開催** わくわく運動プロジェクト情報

**日時・場所・定員**

- ・10月27日(日) 正午～午後3時  
県立敷島公園水泳場(前橋市敷島町) 80人程度(抽選)
- ・11月23日(土)、24日(日) 午前10時～午後3時  
ALSOKぐんまアリーナ他(前橋市関根町)  
各1,200人程度(先着順)

**費用** 無料 **申込開始日** 9月上旬(予定)

**その他** 詳しくは、県スポーツ協会ホームページ  
(<http://www.gunma-sports.or.jp/>)でお知らせします


**問い合わせ先** 県スポーツ協会 ☎027-234-5555

※上図から読み取れます


**VOICE** ボイス

**参加した親子の声**

昨年度のイベントに子どもと全日程参加し、15種目を体験しました。多くのスポーツを体験できる貴重な機会でした。いろいろなスポーツを体験する中で、自分がやりたいと思える種目に出合えたらいいですね。次回も参加したいです。



前回参加した鈴木恵子さん(左)と奏絢さん親子



## 子どもたちに夢や感動を！ ～アスリートとの交流事業～

県では、子どもたちにアスリートとの触れ合いの機会を設け、スポーツの楽しさや素晴らしさを伝えていく事業を行っています。

◆プロスポーツ感動体験プログラム  
県内の3つのプロスポーツチームに所属する選手やコーチが県内の小・中学校やスポーツ少年団などを訪れ、実技指導をしたり、選手の経験や思いを伝えたりします。



◆トップアスリート交流事業  
特別支援学校などにおいて、障害者スポーツの普及や障害に対する理解促進のため、ラグビーや陸上、バスケットボールなどのトップアスリートが体験授業や講義を行います。

群馬クレインサンダーズの選手からバスケットボールを教わる特別支援学校の子どもたち







# 飛び出せ！ 群馬から世界へ

## ぐんまスーパーキッズプロジェクト

国際大会で活躍する選手を育成するためには、ジュニア期からトップレベルに達するまでの期間に、一貫した適切な指導や支援をすることが必要です。そのため県は平成23年度から、体力・運動能力に優れたジュニア選手を発掘し、世界に通用する選手を育成する「ぐんまスーパーキッズプロジェクト」を実施しています。

この事業では、県内の小学4年生を対象に募集・選考し、小学6年生まで継続して専門的な技術指導などを行います。今年新たに89人の子どもがスーパーキッズに選ばれました。プロジェクト出身者には、全国大会や国際大会などで優秀な成績を収めている選手もおり、今後も活躍が期待されます。

### 実施している12競技

スケート (スピードスケート)	自転車
スキー (アルペン・ジャンプ)	馬術
陸上(棒高跳び)	スポーツクライミング
水泳(水球)	空手道
ボクシング	ボウリング
レスリング	ゴルフ



### 子どもの力を伸ばす

「ぐんまスーパーキッズプロジェクト」で水球の指導をする、群馬ジュニア水球の志賀さんに伺いました。



志賀 築子さん

「水球はプールで行われるハンドボールに似た球技です。ボールを扱う技術はもちろんですが、泳力がとても大事になるため、練習では泳ぎに力を入れています。子どもたちには、運動能力の大きな伸びが期待できるこの時期に、泳ぎのスピードとスタミナを身に付けてもらいたいと考えています。」

『ぐんまスーパーキッズプロジェクト』で水球を始める子どもたちは、水泳の経験はあっても競技自体は初心者です。しかし、今では群馬の代表として国体で活躍している選手もいます。このプロジェクトのように、子どもの頃から整った環境で競技に取り組むことで、力を最大限に伸ばすことができると思います。

6年生になると子どもたちは精神的にも強くなり、たくましく成長してチームを引っ張ってくれます。将来は、ここで育った子どもたちが国際大会で活躍してくれることを期待しています。そして、次世代の子どもたちを育てる指導者になって、群馬の水球競技の発展に貢献してほしいです。」

### 目指せ！ オリンピック

#### みんなで頑張っています

水球を始めて3年目になりました。練習は大変ですが、みんなで力を合わせて試合に勝てたときはとてもうれしいです。また練習をたくさんしているので持久力が付いたり、我慢強くなったりするなど成長できたと思います。

今年の目標は、夏の全国大会で優勝することです。将来は、日本代表に選ばれて、オリンピックに出場したいです。



水球のスーパーキッズ (6年生)

練習風景

### スーパーキッズの卒業生が活躍しています！

ブエノスアイレスユースオリンピック2018  
棒高跳び 銀メダリスト

ふるさわかずき 選手  
前橋育英高等学校2年 古澤一生

小学4年生から始めた棒高跳びは、バーを越えたときの爽快感や達成感が大きな魅力で、楽しく競技に取り組んでいます。スーパーキッズの頃に身に付けた技術が基礎となり、昨年のユースオリンピックでは良い成績を収めることができました。

今年の目標は、インターハイで、自己ベストの5秒30を更新して優勝することです。また将来はオリンピックで活躍したいです。

子どもたちには、スポーツでも勉強でも何か真剣になれるものを見つけて、一つの目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。



古澤一生さん

高崎市出身。小学4年時に「ぐんまスーパーキッズプロジェクト」に参加し、棒高跳びを始める。小学5年、中学1年～3年の学年別の日本記録保持者。親や指導者への感謝の気持ちを胸に練習に励む。

### 問い合わせ先

スポーツ施策全体について…県庁スポーツ振興課  
障害者スポーツについて…県庁障害政策課

☎027-226-2079  
☎027-226-2634



# インフォメーション INFORMATION

○問い合わせの際は、番号を間違えないようにお願いします  
 ○HPはぐんま広報ホームページ版([https://www.pref.gunma.a.jp/cate\\_list/ct00001205.html](https://www.pref.gunma.a.jp/cate_list/ct00001205.html))をご覧ください  
 ○ファクスによる問い合わせは、県庁広報課(027-243-3600)へ



<b>凡例</b>	日 日程・時間	休 休館日	所 場所	内 内容	申し込み方法など
	対 対象・資格	料 費用	他 その他	申 申込先	
	問 問い合わせ先	定 定員(因 先着)	抽 抽選	選 選考)	
	受 受付・申込期間(因 必着)	消 消印有効)			
					直 直接・持参
					郵 郵送
					電 電話
					E Eメール
					F ファクス
					番 郵便番号
					フ フリーダイヤル
					シ 電子申請受付システム( <a href="http://www.shinsei.elg-front.jp/gunma/navi/index.html">http://www.shinsei.elg-front.jp/gunma/navi/index.html</a> )

## 食中毒に気を付けましょう ～8月は食品衛生月間～

気温が高い夏季は、細菌を原因とした食中毒が多く発生しています。特に、肉には腸管出血性大腸菌(O157など)やカンピロバクターなどの細菌が付着していることがあります。これらの細菌を原因とする食中毒は毎年発生していて、幼児では重症化する事例もあるので注意が必要です。ただし、これらの細菌は熱に弱いので、十分加熱して食べれば、食中毒を防ぐことができます。

食中毒予防の3原則をしっかりと守って、食中毒を予防しましょう。

問 県庁食品・生活衛生課(☎027-226-2443)

食中毒予防の3原則	◆ 付けない	◆ 増やさない	◆ やっつける
	調理を始める前や生の肉・魚を取り扱う前後には、丁寧に手を洗う。	生鮮食品や総菜などは、購入後できるだけ早く冷蔵庫に入れ、早めに食べる。	肉や魚だけでなく、野菜も加熱すると安全。調理器具は洗剤で洗った後、熱湯で殺菌する。

## ヘルプマーク・ヘルプカードの交付を始めます

障害がある人などが、援助や配慮を必要としていることを周囲の人に知らせて援助を得やすくする、ヘルプマーク・ヘルプカードの交付を開始します。ヘルプマークを持っている人を見掛けたら、援助・配慮にご協力ください。

**ヘルプマーク** バッグなどに取り付け、周囲の人に援助・配慮を必要としていることを知らせます

**ヘルプカード** 医療情報や必要とする配慮の内容などを記載して携帯できます

**交付開始日** 8月20日(火)

**申し込み方法** 所定の申請用紙

**申請用紙配布場所** 市役所・町村役場、県庁障害政策課、県保健福祉事務所  
 ※ヘルプカードは、8月20日以降、☎から入手できます

**他** 詳しくは☎をご覧ください

問 県庁障害政策課(☎027-226-2634)



ヘルプマーク(上)とヘルプカード

## 県内への移住者向けの求人を募集

県内への移住を促進するため、東京23区などから県内に移住し、要件を満たす法人に採用された人に対して、最大100万円の移住支援金を支給する制度を創設しました。この移住支援金を受給しようとする人の就業先となる求人を募集しています。

**対象法人** 資本金10億円未満、本店が東京圏にないなどの要件を満たす法人

**受** 随時

**申し込み方法** 所定の申請用紙

**他**

- ・対象法人について詳しくは「ジョブカフェぐんま」ホームページ(HP参照)をご覧ください ※上図から読み取れます
- ・移住支援金制度について詳しくは「ぐんま暮らし」ポータルサイト(HP参照)をご覧ください

問 県庁労働政策課(☎027-226-3408)



## 「子ども朗読大会」出場者募集

朗読を通して、読み手である子ども自身が読書の楽しさを実感するとともに、聞く子どもたちに読書の楽しさを伝えることを目的に開催します。

**日** 11月30日(土) 午後1時～4時30分

**所** 県生涯学習センター(前橋市文京町)

**対** 県内の小・中学校、中等教育学校前期課程、特別支援学校小学部・中学部に在籍する児童・生徒

**定** 小学生・低学年の部、小学生・高学年の部、中学生の部 各5人  
 ※書類および録音媒体による事前審査を行います

**受** 9月2日(月)まで☎

**申し込み方法** 在籍する学校を通して、申込用紙と朗読を録音したCD-Rを提出してください

**他** 募集要項など詳しくは、☎を確認してください

申・問 県庁生涯学習課(☎027-226-4662)

## ぐんまの魅力を動画・川柳で伝えよう! FIND GUNMAコンテスト作品募集

自然や観光、グルメ、文化、各種体験など群馬の魅力を伝える動画・川柳を募集します。入賞作品は、県が行う広報やプロモーションなどに活用します。奮って応募してください。



### 【動画部門】

1分以内の作品とし、表現方法(実写、アニメ、スライドなど)は問いません

**対** 個人または団体

**賞** 最優秀賞(1点)…10万円、優秀賞(1点)…5万円、特別賞(5点)…1万円

### 【川柳部門】

五七五の俳句調を基本とします。ただし、字余り・字足らずでも構いません

**対** 個人

**賞** 最優秀賞(1点)…1万円分、優秀賞(4点)…5千円分、特別賞(10点)…2千円分

※図書カードを差し上げます

### 【共通事項】

**テーマ** 「見つけて! 教えて! ぐんまの魅力」

**受** 10月31日(木)まで☎

**応募方法** 「FIND GUNMAコンテスト」ホームページ(HP参照)を確認してください

※右図から読み取れます

**他** 応募した人の中から抽選で100人にラッキー賞(冊子「おでかけ群馬」または「ぐんまちゃんボールペン」)を差し上げます

問 県庁広報課(☎027-897-2695)







# お知らせ

## 核兵器の廃絶と平和を願って

本県は、平成元年3月の県議会で「核兵器廃絶平和県」の宣言を決議しました。

地球上から全ての核兵器が廃絶され、世界の平和がいつまでも続くことは、私たちの変わらぬ願いです。

今年も広島、長崎に原爆が投下された夏を迎えました。心を新たに核兵器のない世界平和の実現を目指しましょう。

県庁企画課(☎027・226・2205)

## 8月は個人の事業税の納期です

8月は、個人の事業税の第1期分の納期です。個人の事業税は、県内に事務所・事業所を持ち、事業を行う個人にかかる県税です。納期限までに納付してください。

**税額** 事業の総収入から、必要経費・事業主控除(年額290万円)などの各種控除額を差し引いた課税所得金額に、【別表】に掲げる事業種別の税率を掛けたもの

**納期限** 9月2日(月)

**納税場所** 県内の金融機関、郵便局、県庁県税事務所、コンビニエンスストア、「Pay-easy」対応のインターネットバンキング・モバイルバンキング・ATM、「Yahoo!お支払い」ホームページ(HP参照)からのクレジットカードによる納税

※詳しくは、納税通知書またはHPをご覧ください

**口座振替納税は**  
・9月2日が引き落とし日になりますので、預金残高を前日までに必ず確認してください  
・9月30日(月)までに申し込むと、第

2期分(11月)の納税から利用できます

県庁県税事務所、県庁税務課(☎027・226・2196)

## 【別表】個人の事業税の税額

区分	事業の種類	納める額
第1種事業	物品販売業、不動産貸付業、製造業、駐車場業、請負業、飲食店業、その他一般の営業	課税所得金額×5%
第2種事業	畜産業、水産業、薪炭製造業	課税所得金額×4%
第3種事業	医業、弁護士業、コンサルタント業、理容業、美容業、その他の自由業	課税所得金額×5%
	マッサージ、あん摩、はり、きゅうなどの業	課税所得金額×3%

## 旧優生保護法一時金支給について

旧優生保護法による優生手術などを受けた人に対して、一時金を支給します。

**受 入** 平成31年4月24日から5年以内  
**申し込み方法** 所定の請求書

**他** 詳しくは、HPを確認するかお問い合わせください

県庁児童福祉課(☎027・226・2606)

## 未婚の児童扶養手当受給者に給付金が支給されます

児童扶養手当受給者のうち、これまで法律婚をしたことがない人に対し、臨時の特別措置として給付金を支給します。

**受 入** 元年11月分の児童扶養手当を受給する父または母で、元年10月31日において、これまで法律婚をしたこ

とがない人  
**支給額** 1万7500円

**支給日** 2年1月の児童扶養手当支給日

**他** 申請期限、必要書類など詳しくは、HPまたは住所地の市町村からの案内を確認してください

県庁児童福祉課(☎027・226・2624)、住所地の市役所・町村役場

## 事業承継診断強化月間

8月から10月は「事業承継診断強化月間」です。県では60歳以上の中小企業の経営者を対象に、簡単なチェックリストによる対面式の診断に取り組みます。

「会社を託したい人はいるか」「会社の10年後について相談できる人はいるか」などの項目について、経営者の身近な支援者である商工団体の経営指導員や金融機関の担当職員などが、10分程度の聞き取りを行います。

会社の経営をバトンタッチするためには、十分な準備期間が必要で

す。円滑な事業承継に向けた始めの一歩として、会社の将来について話してみませんか。

**事業承継の相談先** 県事業承継ネットワーク事務局(☎027・226・5665)

県庁商政課(☎027・226・3339)

## 「振り込め詐欺」に注意しましょう

県内では、振り込め詐欺の被害が多発しています。また最近では、キャッシュカードをだまし取られる事例が増えています。被害に遭わないよう対策しましょう。

**主な手口**  
・オレオレ詐欺：警察官や銀行員をかたり「キャッシュカードを預かる」と言う、親族をかたり「現金を

代理の人に手渡ししてほしい」と言う  
・還付金等詐欺：「還付金の受け取りのためにキャッシュカードの更新をするので預かる」と言う、「ATMで還付金の手続きをしてほしい」と言う

・架空請求詐欺：SNSやはがきなどで「契約不履行のため、民事訴訟する。連絡して」と通知する  
**被害に遭わないために**  
・常に留守番電話にしておく  
・電話でお金のお話をしないと家族で約束しておく  
・家族だけの合い言葉を決めておく  
**相談先・時間**  
・消費者ホットライン(☎局番なし188)：午前9時～午後5時  
・振り込め詐欺被害防止ホットライン(☎027・224・5454)：24時間受け付け

県庁消費生活課(☎027・226・2356)

## 川遊びをするときは気を付けましょう

夏は水辺に近づくと機会が多くなります。川で遊ぶときには、次のことに注意しましょう。

・子どもは必ず大人と一緒に遊ぶ  
・川の水は、上流に降った雨で急に増えることがあるので、小まめに気象情報を確認する

・川の流れば複雑であること、急に深くなっている所や流れが速い所があることを認識しておく

・川で泳ぐときには、必ずライフジャケットを着用する

・バーベキューなどで飲酒をして川に入ることは絶対にやめる

県庁河川課(☎027・226・3612)

## 「ぐんまの風景を魅せる土木施設」木施設「BIRD'S EYE」目「放送中

私たちの生活に欠かせない土木施設の役割や魅力を紹介する番組を、群馬テレビで放送しています。

ドローンでの撮影を取り入れ、土木施設ならではのスケールの大きさを、躍動感ある映像で伝えます。

**放送日・時間** 土曜日 午後6時15分～20分  
**再放送日・時間** 日曜日 午後6時



15分～20分

**他** 昨年度までの放送は、動画投稿サイト「YouTube」で配信しています。詳しくはHPをご覧ください

県庁建設企画課(☎027・226・3531)

## ご利用ください

### ぐんま妊娠SOS

思いがけない妊娠で悩んでいる人からの相談に応じています。

**相談日・時間** 火・土曜日 午後7時～10時  
**休日** 祝日  
**無料**

※通話料は相談者の負担になります  
**相談方法** ☎

**相談先** ぐんま妊娠SOS(☎0276・37・5660)  
**他** 「ぐんま妊娠SOS」ホームページ(HP参照)からも相談できます

※24時間受け付け。返信は原則として週2回行います

県庁児童福祉課(☎027・226・2606)

## 募集

### 「上野三碑かるた」の読み札

ユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑を多くの人に知ってもらうために作成する「上野三碑かるた」の読み札の原案を募集します。

**受 入** 9月13日(金)まで  
**応募方法** 郵、E、Fまたは所定の応募用紙。住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記入してください

**他** 応募規定など詳しくは、高崎市ホームページ(HP参照)をご覧ください

応募用紙配布場所 高崎市役所(高



崎市高松町)、県庁県民センターなど  
応募先・問 高崎市文化財保護課  
(〒370-8501 ☎027・  
321-1292 F027・32  
8・2265 Eky-bunkazai@  
city.takasaki.gunma.jp)

### 県きのこ料理コンクール

県産キノコの消費拡大に向け、県産キノコを使ったアイデア料理コンクールを開催します。本コンクールの最優秀作品は、全国大会に本県代表として推薦します。  
対 県内に在住または通勤、通学している人  
受 9月27日(金)まで  
応募方法 所定の応募票  
※料理の写真を添付してください  
応募票配布場所 市役所・町村役場、県森林環境事務所、県森林事務所、県庁県民センター、県庁林業振興課、県森林組合連合会(前橋市上大島町)  
※HPからも入手できます  
他 1次審査(書類審査)の通過作品は、11月30日(土)に山崎学園群馬調理師専門学校(前橋市小屋原町)で本審査(調理審査)を実施します  
問 県庁林業振興課(☎027・226・3234)

## 試験

### 行政書士試験

日 11月10日(日)  
合格発表日 2年1月29日(水)  
所 高崎経済大学(高崎市上並榎町)  
試験内容 行政書士の業務に必要な法令や一般知識など  
受験料 7千円  
受 8月30日(金)まで  
※ホームページからの出願は、27日(火)午後5時まで  
出願方法 所定の出願用紙

※行政書士試験研究センターホームページ(HP参照)からも出願できます  
出願用紙配布場所 県庁県民センター、県庁市町村課、県庁県民センター  
※郵送を希望する場合は、1400円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角形2号)を同封の上、行政書士試験研究センター試験課(〒252-0299 日本郵便相模原郵便局留)へ請求してください(8月23日(金)まで)  
他 可否と得点結果は、受験者全員に通知されます  
問 行政書士試験研究センター(☎03・3263・7700)、県庁市町村課(☎027・226・2212)

### 県職員採用Ⅲ類試験、選考 考查

第1次試験・考查日 9月29日(日)  
所 県庁(前橋市大手町)、県立前橋商業高等学校(前橋市南町)、県総合交通センター(前橋市元総社町)のいずれか  
受 8月9日(金)～27日(火)  
※26日(月)まで  
出願方法 所定の出願用紙  
※からも申し込みます  
受験案内・出願用紙配布場所 県庁県民センター、県庁県民センター(東京都千代田区平河町)、県人事委員会事務局など  
他 受験資格や採用予定人数など詳しくは、HPをご覧ください  
問 県人事委員会事務局(☎027・226・2744)

## 催し

### ぐんまちゃんの思い出めぐり リスタンプラリー3

「あがつまのお友達」の絵手紙をヒントに、吾妻郡内6町村(中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町)のキャラクターの家を探し、中にあるスタンプを押します。2個以上押して応募すると、抽選で商品が当たります。  
日 11月4日(月)まで  
所 吾妻郡内6町村の観光施設など  
¥ 無料  
受 11月15日(金)まで  
応募方法 所定の応募用紙  
応募用紙配布場所 吾妻郡内の町村役場・観光協会、県内の「道の駅」など  
他 発見賞(スタンプ1個以上)、参加賞もあります  
問 県吾妻行政県税事務所(☎0279・75・3301)

### 山の日記念「21世紀の森まつり」

「山の日」の制定を記念し、山の素晴らしさを森林・林業への理解を深めてもらうためのイベントです。  
日 8月11日(日) 午前10時～午後4時  
所 県立森林公園「21世紀の森」(沼田市上発知町・川場村谷地)  
内 ゲストによる音楽ステージ、木工工作・ボルダリング体験、地域の特産品の販売、特産品などが当たる抽選会など  
¥ 無料  
申し込み方法 当日、会場に直  
問 県庁林政課(☎027・226・2815)、利根沼田森林組合(☎0278・52・2127)

### たまごフェスタ

日 8月18日(日) 午前10時～午後2時  
所 県庁(前橋市大手町)  
内 講演会やパネル展示、県産の卵加工品の販売会、「ひよここと遊ぼう」、卵かけご飯・厚焼き卵の早食い競争、卵の詰め放題、ゆで卵食べ放題など  
¥ 無料  
※一部、費用がかかるものもあります

申し込み方法 当日、会場に直  
問 県庁畜産課(☎027・226・3106)

### 県なし品評会

日 8月20日(火) 午前10時～午後3時  
所 県庁(前橋市大手町)  
内 県内で生産されたナシの秀作の展示・販売、生産者による直売・生産者による直売：午前10時から商品終了まで  
・展示品の一般公開：正午から午後3時まで  
・展示品の販売：3時から販売品終了まで  
¥ 無料  
申し込み方法 当日、会場に直  
問 県庁畜産課(☎027・226・3136)

### 嬭恋ハートきゃべつ畑収穫イベント

日 9月8日(日) 午前11時30分～午後3時  
所 愛妻の丘(嬭恋村田代)  
内 ハート型に植えたきゃべつの収穫体験、きゃべつ料理の販売など  
¥ 無料  
※きゃべつを購入する場合は、1個当たり100円がかかります



ハート型のきゃべつ畑での収穫体験

申し込み方法 当日、会場に直  
問 嬭恋村観光協会(☎0279・97・3721)

### 県地域おこし協力隊募集相談会

日 9月14日(土) 午後5時30分～8時30分  
所 ふるさと回帰支援センター(東京都千代田区有楽町)  
内 地域おこし協力隊に関するセミナーや隊員を募集する市町村からの募集案内、市町村ブースでの個別相談  
対 県内の市町村で地域おこし協力隊として活動したい人、地域おこし協力隊に興味がある人など  
¥ 無料  
申し込み方法 当日、会場に直  
問 県庁地域政策課(☎027・226・2370)

### ぐんま就農相談会 in 県庁

日 9月29日(日) 午後0時30分～4時  
所 県庁(前橋市大手町)  
内 県内での自営就農や農業法人への雇用就農に関する相談会、先進事例を紹介するセミナー  
対 本県の農業に興味・関心がある人など  
定 就農・就職に関する相談会：無し  
※当日も受け付けます  
・セミナー：30人程度  
¥ 無料  
受 9月25日(水)まで  
申し込み方法 郵、☎、E、F または所定の申込用紙。住所、氏名、電話番号をお知らせください  
申込用紙配布場所 県庁農業構造政策課、県農業事務所など  
※HPからも入手できます  
甲・問 県庁農業構造政策課(〒371-8570 ☎027・226・3064 F027・225・0069 E noukouka@pref.gunma.jp)

県政の話題を写真で紹介  
2019 AUG 8  
特集 釣って！食べて！群馬の魚  
かお パラサイクリング 木村和乎さん、倉林巧和さん  
県政の話題 オールぐんま de すき焼きまつり  
ぐんま名山探訪(西尾ノ登山)、ぐんま湯けむり浪漫(鍾田温泉)、おさんぽ日和(大泉町エリア)など  
8月10日(土)発売予定 定価360円(税込み) 販売場所：県庁県民センター、県内取扱書店  
問 県庁広報課 ☎ 027-226-2162

「ぐんま広報」電子書籍版のお知らせ  
スマートフォンやタブレット端末で「ぐんま広報」の最新号をご覧ください。電子書籍用アプリ(無料)のダウンロード方法は、HPをご覧ください。※右図からも読み取れます  
問 県庁広報課 ☎ 027-226-2162

ぐんま一番 イチバン  
群馬テレビ 毎週金曜日 午後7時30分  
(再放送) 日曜日 午前9時30分  
群馬の宣伝部長ぐんまちゃん、宣伝部員のタイムマシーン3号と女性部員が県内各地を巡り、知る人ぞ知る地域の魅力を、群馬県の魅力として県内外に紹介します。  
8月9日/長野原で出会う 大地の記憶  
8月16日/神流町・上野村・南牧村  
8月23日/シリーズ企画  
問 県庁広報課 ☎ 027-226-2167





### 美術館・博物館 などの催し

※印の施設では、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者(1人)は無料です。証明できるものをお持ちください

#### 埋蔵文化財調査事業団「夏休み親子宿題教室」

日 8月15日(木)まで 午前9時～午後5時(受け付けは3時まで)  
休 土曜日、8月12日(月)

所 県埋蔵文化財調査センター発掘情報館(渋川市北橘町)

内 親子で埴輪や土器、勾玉を作る古代体験ができます

対 小学1年生以上とその保護者  
¥ 300円程度(材料費)

申し込み方法 当日、会場に直  
問 ☎0279・52・2513



粘土を使った埴輪作り

#### ぐんまこどもの国児童会館 夏休み特別企画「光のラビリンス」

日 9月16日(月)まで 午前9時30分～11時30分、午後1時～4時30分  
休 9月2日(月)～4日(水)、9日(月)

所 ぐんまこどもの国児童会館(太田市長手町)

内 「見て、触って、遊べる」光とアートが織りなす、魔法のような美術展です

対 一般

※未就学児は保護者の付き添いが必要

無料  
申し込み方法 当日、会場に直  
詳しくはHPをご覧ください  
問 ☎0276・25・0055

#### 土屋文明記念文学館企画展 「みんなの『ごんぎつね』」

日 9月23日(月)まで 午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで)  
休 火曜日(8月13日を除く)

所 県立土屋文明記念文学館(高崎市保渡田町)

内 小学校の教科書に掲載され、今もなお幅広い世代に愛される物語『ごんぎつね』を、作者である新美南吉の生涯とともに紹介します。絵本作家・かすや昌宏の光彩画による、幻想的な空間『ごんぎつねのへや』も見どころの一つです

観覧料 一般410円、大学・高校生200円、中学生以下無料

問 ☎027・373・7721



光彩画「ごんぎつね」©かすや昌宏

#### カネコ種苗ぐんまフラワーパーク「トロピカルガーデン」

日 9月23日(月)まで 午前9時～午後5時(入園は4時30分まで)

所 カネコ種苗ぐんまフラワーパーク(前橋市柏倉町)

内 トロピカルフルーツで南国をイメージしたガーデンが楽しめます

入園料 一般600円、中学生以下無料  
問 ☎0120・1187・38

#### ぐんま昆虫の森企画展「新種昆虫発見!」

日 10月28日(月)まで 午前9時30分～午後5時(入園は4時30分まで)  
休 月曜日(8月5日)、12日、10月28日を除く。祝日の場合はその翌日、8月27日(火)～30日(金)

所 県立ぐんま昆虫の森(桐生市新里町)

内 県内などで発見された昆虫の新種を展示するとともに、発見から新種として認められるまでの過程を解説します。当園昆虫専門員によるギャラリートークもあります

入園料 一般410円、大学・高校生200円、中学生以下無料

問 ☎0277・74・6441

#### 文書館テーマ展示「いい湯だなあ〜♪ぐんまの温泉今昔」

日 11月10日(日)まで 午前9時～午後5時  
休 月曜日、祝日、8月31日(土)、10月1日(火)～4日(金)、22日(火)、31日(木)

所 県立文書館(前橋市文京町)

内 当館収蔵の近現代の温泉に関する公文書や絵図、写真などを展示します。日本を代表する群馬の温泉の今と昔の姿を見比べながら、その魅力を再発見します

観覧料 無料  
詳しくはHPをご覧ください  
問 ☎027・221・2346



上州草津温泉之略図(中澤氏収集文書)

#### 歴史博物館「はこわにわつてみよう」

日 8月20日(火)、28日(水) 午後3時～3時30分

所 県立歴史博物館(高崎市綿貫町)

内 学芸員の立ち会いの下で、実物の埴輪に触れる体験ができます

対 小・中学生とその保護者  
※小学生は保護者の付き添いが必要  
無料  
観覧料がかりります  
観覧料 一般500円、大学・高校生250円、中学生以下無料  
申し込み方法 当日、会場に直  
問 ☎027・346・5522

#### 自然史博物館サイエンス・サタデー「化石のレプリカに色つけしよう」

日 8月10日、17日、24日、31日(いずれも土曜日) 午後2時～3時(受け付けは1時30分から)

所 県立自然史博物館富岡市上黒石

内 化石のレプリカを作って、色付けをします

対 小学生以上の入  
※小学3年生以下は保護者の付き添いが必要  
定 各30人  
¥ 無料  
申し込み方法 当日、会場に直  
詳しくはHPをご覧ください  
問 ☎0274・60・1200



化石のレプリカに色を付ける

#### 館林美術館企画展示「みつめる」アーティスト・トーク\*

日 8月24日(土) 午後2時～3時 津上みゆき(出品作家)  
9月1日(日) 午後2時～3時 金田実生(出品作家)

所 県立館林美術館(館林市日向町)

内 企画展示「みつめる」見ることの不思議と向き合う作家たち」の出品作家が、自作を前に制作について語ります

¥ 無料  
※観覧料がかりります  
観覧料 一般610円、大学・高校生300円、中学生以下無料

他 詳しくはHPをご覧ください  
問 ☎0276・72・8188

#### 近代美術館アーティスト・トーク 長島有里枝×竹村京

日 8月25日(日) 午後2時～3時30分

所 県立近代美術館(高崎市綿貫町)

内 高崎にゆかりのある2人の現代作家によるアーティスト・トーク

定 200人  
¥ 無料  
申し込み方法 当日、会場に直  
詳しくはHPをご覧ください  
問 ☎027・346・5560

#### 生涯学習センター少年科学館「サイエンスショー」

日 8月31日(土) 午後2時30分～3時

所 県生涯学習センター少年科学館(前橋市文京町)

内 身近なものを使って科学実験をします

対 幼児、小・中学生  
定 30人  
¥ 無料  
申し込み方法 当日、会場に直  
問 ☎027・220・1876

#### ザスパクサツ群馬試合情報

日程	開始時刻	対戦相手
8月4日(日)	午後7時	Y.S.C.C.横浜
8月31日(土)		AC長野パルセイロ

会場 正田醤油スタジアム群馬(前橋市敷島町)  
入場料 指定席=2,900円 ※自由席は席種などにより異なります。詳しくはお問い合わせください  
入場券販売場所 バイシアワールドスポーツ西部モール店(伊勢崎市宮子町)・前橋みなみモール店(前橋市新堀町)など  
問 ザスパクサツ群馬  
☎ 027-225-2350 HP https://www.thespa.co.jp/

#### 群馬ダイヤモンドペガサス試合情報

日程	開始時刻	会場	対戦相手
8月7日(水)	午後6時	桐生球場	新潟アルビレックスBC
8月10日(土)	午後1時	伊勢崎市野球場	埼玉武蔵ヒートベアーズ
8月25日(日)	午後6時	敷島球場	福島レッドホープス
8月30日(金)	午後5時	前橋市民球場	新潟アルビレックスBC

入場料 全席自由(当日券だけ) 一般=1,500円、小・中学生=500円 ※小学生未満は無料  
問 群馬ダイヤモンドペガサス  
☎ 027-386-6088 HP http://d-pegasus.com/

#### 群響夏休みコンサート情報

期日 8月24日(土) 開演時刻 午後3時(2時15分開場)  
会場 群馬音楽センター(高崎市高松町)  
内容 指揮:原田慶太楼、案内人:TARAKO、ゲスト:鈴木明子(JAXA広報部長)、児童合唱:群馬大学教育学部附属小学校合唱団、曲目:R. シュトラウス/交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」など  
入場料 全席自由 一般=2,500円、高校生以下=1,500円、親子(一般1枚、高校生以下1枚)=3,500円 ※3歳未満で座席が不要の場合は無料  
入場券販売場所 群馬音楽センター、チケットぴあなど  
問 群馬交響楽団事務局  
☎ 027-322-4316 HP http://www.gunkyo.com/

チケットプレゼント 「ぐんま広報読者アンケート」の回答者の中から抽選で、ザスパクサツ群馬(9月28日アスルクラロ沼津戦)、群馬交響楽団定期演奏会(10月26日)のチケット(2枚組み)をそれぞれ5人にプレゼントします。詳しくは8ページをご覧ください



# イベント情報

※県内各地で開催される祭りを紹介します。詳しくはお問い合わせください  
※内容が変更になることがありますので、お出掛けの際はご確認ください

名称	日程・時間	会場	内容	費用	問い合わせ先
いせさきまつり	8月10日(土)、11日(日) 午後1時～9時30分	本町通り (伊勢崎市本町)他	伊勢崎市を代表する伝統ある祭りです。山車とみこしの競演や郷土芸能などが行われます	無料	伊勢崎市文化観光課 ☎0270-27-2759 F0270-21-3352
磯部温泉まつり	8月14日(水)～16日(金) ※各イベントの開始時刻はお問い合わせください	磯部温泉 (安中市磯部)	磯部温泉の夏の風物詩です。花火大会や子どもみこし、寄席、鮎のつかみ取り、灯籠流しなどが楽しめます	無料 ※一部、費用のかかるものもあります	安中市観光機構(磯部オフィス) ☎・F027-385-6555
おうら祭り	8月18日(日) 午前10時～午後8時45分	シンボルタワー "未来MiRAi"周辺 (邑楽町中野)	みこしや山車、舞台発表の他、当日参加ができる民謡流しもあります。恒例の打ち上げ花火が最後を飾ります	無料	邑楽町商工振興課 ☎0276-88-5511 F0276-88-3247

## おたより コーナー



クロスワードパズルへの応募はがき・メールを紹介します

◆7月号の特集「災害から命を守るために」を読んで、市が作ったハザードマップを確認しました。

自宅のある場所は避難の必要性がないと思っていたら、山地災害危険地区に含まれていることが分かり、意外でした。

大雨が降ると土砂災害が発生する可能性があるため、警戒レベル4が発令されたら避難したいと思います。(安中市 69歳)

◆「自分が住んでいる所は災害がないので大丈夫」と思い込むことは危険なのだ、あらためて感じました。

災害情報をすぐに入手できるように、紹介されていた防災ポータルサイトをブックマークに登録しました。(前橋市 50歳)

※掲載された人には、ぐんまちゃんのぬいぐるみをプレゼントします

## 「ぐんま広報」読者アンケート

「ぐんま広報」のアンケートにご協力ください。回答者の中から抽選で「ぐんまちゃんグッズセット」や「ぐんま一番オリジナルグッズ」、「県有施設のご招待券(2枚組み)」などを各5人に差し上げます。

### ① 紙面構成・内容は分かりやすいですか？

1. 分かりやすい 2. おおむね分かりやすい 3. 少し分かりにくい (具体的に: ) 4. 分かりにくい (具体的に: )

### ② 紙面レイアウト、デザイン、配色、文字の大きさなどは読みやすいですか？

1. 読みやすい 2. おおむね読みやすい 3. 少し読みにくい (具体的に: ) 4. 読みにくい (具体的に: )

### ③ 普段「ぐんま広報」をどこで手に入れていますか？

1. 新聞折り込み 2. 県庁県民センター、県行政県税事務所 3. 市役所・町村役場  
4. 銀行、農協 5. スーパーマーケット、コンビニエンスストア 6. 郵便局  
7. 県ホームページ版で見ている 8. 電子書籍版で見ている 9. その他( )

### ④ 「ぐんま広報」の中で、よく読むコーナーはどこですか？(3つまで選んでください)

1. 特集(1～3ページ) 2. インフォメーション(4～6ページ)  
3. ぐんまちゃんの群馬の魅力再発見！(前回掲載は6月号)  
4. 県民リポーターだより(前回掲載は7月号) 5. 美術館・博物館の催し(7ページ)  
6. イベント情報(8ページ) 7. おたよりコーナー 8. 編集室だより

### ⑤ 電子書籍版「ぐんま広報」を、パソコンやスマートフォン、タブレットで読めることをご存じですか？また実際に読んだことがありますか？(複数選択可)

1. パソコンで読んだことがある 2. スマートフォン、タブレットで読んだことがある  
3. 知っていたが、読んだことはない 4. 初めて知った

### ⑥ その他、ご意見・ご感想、取り上げてほしいテーマなどをご記入ください

応募方法 はがき、ファクス、Eメールまたは「ぐんま電子申請受付システム」。

①～⑥アンケートの各項目の回答 ⑦郵便番号 ⑧住所 ⑨氏名(ふりがな) ⑩年齢 ⑪希望の賞品名を書いてください(Eメールは件名に「ぐんま広報8月号読者アンケート」と記入してください)

#### 応募先

・はがき 〒371-8570 広報課読者アンケート係

・ファクス 027-243-3600

・Eメール dokusya@pref.gunma.lg.jp

・電子申請 <https://www.shinsei.elg-front.jp/gunma/uketsuke/form.do?acs=R1dokusya8>

(スマートフォン用ホームページのURLは上図から読み取れます)

応募期限 8月14日(水)消印有効

※ファクス、Eメール、電子申請は14日送信分まで

賞品 次の中から希望のもの一つ明記してください

ぐんまちゃんグッズセット、「ぐんま一番」番組オリジナルグッズセット(保冷バッグ・扇子)、近代美術館、館林美術館、歴史博物館、自然史博物館、土屋文明記念文学館、日本絹の里、カネコ種苗ぐんまフラワーパーク、ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森、ザスパクサツ群馬(9月28日アスルクラロ沼津戦)、群馬交響楽団定期演奏会(10月26日)

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

## 編集室だより

私がスポーツを始めたきっかけは、小学3年生の時に県立敷島公園野球場でプロ野球の試合を見たことでした。当時オリックス・ブルーウェーブに所属していたイチロー選手のプレーに目を奪われ、野球を始めたことを思い出し懐かしくなりました。

「わくわく運動プロジェクト」や「ぐんまスーパーキッズプロジェクト」は、子どもが夢中になれるものを見つける一つのきっかけになると思います。子どもたちには、いろいろな挑戦をして、可能性を広げてもらいたいです。(田子)

7月号のクロスワードパズルの答えは「アマノガワ(天の川)」でした。応募総数は825通でした。たくさんのご応募・ご意見をありがとうございました。

広告の内容に関する一切の責任は、広告主に帰属するものです。この広告内容を県が推奨・保証等するものではありません